

教 科	科 目 名	単位数	学年	学科またはコース	履 修
農業	果樹	2	2	生物生産科	選択

科目のねらい	果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性向上を図る能力と態度を育てる。
使用教材など	教科書：果樹（実教出版）

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント及び評価の観点
一学期	4	22	○果樹とは	果樹とは、どのような作物かを理解する。 果実の食料的価値及びその特徴を理解する。 果樹の生育・栽培管理について、置賜地域の品目（リンゴ、オウトウ、ブドウ、カキ）を中心に理解する。
	5		○果樹の種類と栽培の動向 ・果樹の種類と果実の利用	
	6		○生育と栽培管理 ・果樹の生育と生理	
	7		・果樹栽培と環境 (ブドウ、リンゴ、オウトウ、カキ)	
二学期	8	27	○生育と栽培環境 (ブドウ、リンゴ、オウトウ、カキ) (プロジェクト学習)	環境条件（気温、日照、降水量、風、土壌、水分、栄養）が、果樹の生育にどのように影響するのか、また、それに合わせた栽培管理について理解する。
	9		・生育と栄養	
	10		・果樹栽培の一生	
	11		・栽培管理の現状	
	12			
三学期	1	10	○生育と栽培管理 ・着果習性について ・整枝、剪定の基礎	果実の生産性と着果習性について理解する。 整枝・剪定技術の基本を習得する。 プロジェクト学習をまとめることにより、1年間の振り返りができ、今後の栽培管理について考えることができる。
	2			
	3		○プロジェクトのまとめ ・年間栽培管理のまとめ	

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
趣 観 旨 点 の	・果実の生産と経営に関する課題を発見し、解決しようとしている。	・果樹での学習成果を、主体的に分析、考察、評価してまとめようとしている。	・果実の生産について、関連する技術を積極的に身に付けようとしている。	・果樹の生理・生態的な特性や生産及び生育環境を理解しようとしている。
評 主 価 たる 方 法	・行動の観察 ・ノートの点検	・プレゼンテーションの作成 ・発表力の評価	・行動の観察 ・ノート及び実習日誌等の点検	・行動の観察 ・ノートと点検

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	果樹栽培に必要な基本的な知識が身につく、説明できるなど理解ができている。	50～60点
②課題提出 (ノート・プリント等)	ノート、実習の記録、プロジェクト学習のまとめ等	10～20点
③実習・出席状況	実習に意欲的に取り組んでいる。仲間と協力して真面目に取り組める。実習内容を理解し、活動できている。	30点

